

平成 26 年度事業計画書

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

平成 26 年度は、公益財団法人へ移行して 2 年目であり、引き続き法令、定款等の順守（コンプライアンス）、透明性の確保（情報開示）を基本とした自己責任に基づく健全で安定的な経営基盤の確立を目指す。

事業活動については、引き続き「遊んだり、泳いだりするのに適した河川や湖にする」という目標を掲げ、琵琶湖・淀川流域の水質保全分野を中心とした諸課題の解決に向けた自主研究や研究助成、啓発事業などの事業を実施する。

1. 水質保全調査研究事業（自主）

(予算額 10,000 千円)

◆ 生活環境保全対策・健康リスク問題に関わる調査研究

「水質に関する生活環境保全のための対策」、「閉鎖性水域の富栄養化現象、底質改善対策」、「安全で安心な水のための健康リスクに関わる問題」、「環境変化への対応(気候変動を含めた水質の監視・管理)」など、流域全体で取り組むべき課題や効率的な方策を念頭に、公共用水域への流入汚濁負荷の削減、発生源の把握、および有効な取り組み手法等について、それぞれに見合った研究アプローチを駆使しながら、課題解決に向けた調査・研究を進める。また、流域全体を俯瞰し、琵琶湖・淀川流域を一体的に捉えた長期的な期間の水質変化を面的に図化する取組みを進め、水系水質管理のための必要な情報を収集整理するとともに、これまでの水質対策の評価、新たな水質問題等の検討や解決へ向けた流域の関係機関や担当部署との協議等を図る。さらに、安全安心を目指した水質保全のために助成金や共同研究を活用し、学識者や他の研究者とともに調査研究を進める。

2. 水質保全啓発事業

(予算額 2,760 千円)

琵琶湖・淀川流域の水質保全を住民や行政と共に一体となって推進するための広報・啓発事業として「流域の水環境保全のための情報収集・発信」、「流域住民の水質保全活動への普及啓発・連携」を行なう。主な実施項目は下記のとおりである。

(1) 流域の水環境保全のための情報収集・発信

住民から行政まで幅広い層による流域水環境改善のための取組みに資することを目的に、情報の共有化や利活用を推進する学術的情報ツールとして、あるいは、琵琶湖・淀川を身近に感じ、地域の水環境を流域全体として理解してもらうための水環境情報をわかりやすく紹介した冊子等、様々な水環境保全のための情報発信に取り組む。

主な実施項目

「BYQ 水環境レポートの作成」

流域全体の水質データ情報を集積し、他の研究機関や行政機関等に供するための情報誌を発行する。

「琵琶湖・淀川 里の川をめぐる情報誌の作成」

琵琶湖・淀川流域内の河川の水に関する歴史や見所などを紹介する冊子を発行し、主に一般市民の水環境への関心を高めていく。

「研究成果の発表及び情報収集」

水質浄化研究所における調査研究の成果を国内外の学会等で発表することにより、広く成果の共有を図るとともに情報の収集に努める。

(2) 流域住民の水質保全活動への普及啓発・連携

流域住民自らが身近な水環境を考え、水質に興味をもってもらうきっかけづくりを目指した調査や、流域一体となった水質保全対策を推進するための水環境改善に関わる人たちの情報交換や交流の促進に取り組んでいく。

主な実施項目

「WAQU2 調査隊による水質調査」

身近な河川等の水質を流域住民自らが調べることで水環境の関心を高めていく。

「BY スタンプラリーの実施」

市民団体の水環境改善活動への参加や水関連施設の見学を通じて、流域市民の水環境改善活動への参加及び団体間の連帯感の向上を促す。

3. 水質保全活動支援事業

(予算額 10,400 千円)

◆ 水質保全研究助成

琵琶湖・淀川流域における水質保全上の先駆的な課題を解決することを目的に、BYQ が設定する研究テーマに沿った研究に対して助成を行う。

【募集研究分野】

- (1) 水系水質管理のための有機性汚濁指標とその代表性に関する研究
- (2) 琵琶湖・淀川流域の水質・底質中の微量有害汚染物質の挙動把握および分析手法の確立等に関する研究

- (3) 琵琶湖・淀川流域における大腸菌などの病原性微生物の動態把握と削減技術に関する研究

◆ **こども水質保全活動助成**

琵琶湖・淀川流域で生活する小学生から高校生の年齢の子どもたちの水質保全活動を対象とした助成制度を創設し、次世代の水質保全活動の担い手の育成を進める。

【助成対象活動】

「水環境について知り、理解する活動」、「水質の保全・改善に関する活動」で、次の視点や内容を満たす活動

- (1) 琵琶湖・淀川流域をフィールドとした体験的な学習活動が含まれること
- (2) 上流・下流のつながりなど広域的な視点があること
- (3) 今後の水質保全活動の参考となるような創意工夫があること